



いきいき茨城ゆめ国体2019

第74回国民体育大会

翔べ 羽ばたけ そして未来へ

第74回大会 TEAM FUKUOKA NEWS

福岡県選手団サポートニュース R1. 9. 10 Vol.1

福岡県いよいよ始動！福岡の底力を見せるとき！！

冬季大会を終え、福岡県は17位。冬季大会での選手の活躍を受け、いよいよ茨城県にて会期前競技がスタートした。本県選手団の今後の活躍に、県民の熱い視線が注がれる。本気の福岡の姿を見せ、存分に力を発揮してほしい。



【冬季国体終了時点での福岡県順位】

| 男女総合成績 | | |
|--------|------|-------|
| 第74回大会 | | |
| 順位 | 都道府県 | 得点 |
| 1 | 北海道 | 441.0 |
| 2 | 長野県 | 368.5 |
| 3 | 茨城県 | 172.0 |
| 4 | 青森県 | 165.0 |
| 5 | 山形県 | 152.0 |
| 6 | 東京都 | 146.0 |
| 6 | 神奈川県 | 146.0 |
| 8 | 秋田県 | 144.5 |
| 17 | 福岡県 | 96.0 |

★会期前競技の競技結果

新体操（少年女子）11位でフィニッシュ！

日立市での新体操競技を皮切りに、いよいよ茨城国体がスタートした。初日、北島・小森・森・近藤（いずれも中村学園女子高校）の各選手が個人競技に出場。素晴らしい笑顔と伸びやかな演技を見せた。個人競技終了時点の成績は16位であったが、赤司監督（中村学園女子高校）は、「この結果は想定内。明日の団体では、広い会場をいっぱいに使った演技をお見せしたい」と自信を見せた。翌日の団体競技は、個人の4名に複本選手を加えた5名での演技。全員が素晴らしいコンビネーションを見せ、クラブとフープが宙を舞った。終了後には会場内から割れんばかりの拍手が鳴り、観客を魅了した。団体競技の得点は20.100点と、全体5位の好成績であったが、最終順位は11位となった。赤司監督からは、「1年1年成長している。また来シーズン頑張ります！」と力強いコメントをいただいた。

小森選手



トランポリン競技は男女とも予選突破ならず

茨城国体から新規導入種目となったトランポリン競技。空中でのアクロバティックな演技で、美しさ・難しさ・高さを競う採点競技で、男子は本松選手（スペースウォーク）、女子は奥津選手（金沢学院大学）が出場。本松選手は中学生での出場、過去には中学生大会では九州チャンピオンの実績もあり素晴らしい演技を見せたが、シニアとの壁はまだ厚く13位。奥津選手も実力はあるものの、第2試技での不運もあり、16位で本松選手同様予選通過できなかった。牧野監督は、「次回の国体での活躍に期待したい！」と前を向いた。

奥津選手



本松選手



HP「ふくおかスポネット」でもニュースレターを配信しております。ぜひご覧ください。

作成者：福岡県選手強化推進実行委員会事務局〔福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課〕

TEL：092-643-3924

